

知識集約型社会を支える人材育成事業（メニューⅠ・Ⅱ）中間評価結果

中間評価を実施した知識集約型社会を支える人材育成事業（6大学）の中間評価結果の分布は以下のとおりである。

評 価		件 数	割 合
S	計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。	3	50.0%
A	計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。	2	33.3%
B	一部で計画と同等又はそれ以上の取組も見られるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。	1	16.7%
C	取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、財政支援の縮小を含めた事業計画の抜本的な見直しが必要である。	0	0.0%
D	現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しがなく、採択大学への財政支援を中止することが必要である。	0	0.0%
計		6	